

2019年度 推薦入学試験（一般推薦等） 法学部 法律学科「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
51	45

※一般推薦（指定校含む）、文化活動推薦、専門・総合推薦の総計

1

2. 法律学科 アドミッション・ポリシー

法律学科は、現実の社会において発生する様々な問題について論理的かつ合理的に考えることができる法的思考能力（リーガル・マインド）を持ち、さらにその能力をもちいて、これらの問題に対して柔軟かつ適切な解決策を導き出すことができる人材の育成を目指しています。

そのため、特に以下の点について、十分な適性と意欲を持った志願者を求めます。

1. 社会の動きに広く関心を持っている人物。
2. 物事を柔軟かつ論理的に考え、それを的確に表現できる人物。
3. 高い志と正義感、忍耐力を有する人物。

A O型入学試験では、志願者の自己推薦ポイント（人間性、活動実績、将来への夢・希望など）が、これから法律学科で学んでいく上でどのような意義をもつかを、みなさん自身の言葉で明確に表現できることが望まれます。

3. 出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が法律系の学問を専攻する上で必要な能力・関心をどの程度持っているかを見ることである。

本学科のアドミッション・ポリシーのうち、①社会の動きに広く関心を持っている人物、②物事を柔軟かつ論理的に考え、それを的確に表現できる人物であるかどうかを判断するため、まず、問題文の説明について読解し、この小論文で問われているのは、①成年年齢は何歳が適切か、②各種の法律で別個の年齢基準を設けることの是非であることを正確に理解しているかを見る。次に、問題について自らの考えを論じさせることによって、法律的な問題にどの程度の知識・関心を持っているかを見る。そして、解答の全体から文章作成能力のほか、自らの考えを論理的に表現し、展開する能力があるかを問うものである。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

特になし。